

埼京線での人身事故防止へ

ホームドア設置要望署名2317筆

JRに提出・懇談



前号でお知らせした、「埼京線市内3駅に転落防止対策を求める要望書」の署名について、2023年3月1日、日本共産党戸田市議団は、日本共産党の伊藤岳参議院議員と戸田市民2名と共に、JR大宮支社を訪れ、JR東日本代表取締役深沢 祐二氏へのホームドアの設置を求める要望署名2317筆を担当者に手渡し懇談しました(写真右、左から3番目おとう議員)

優先的に設置していきたい

埼京線のホームドア設置については、すでに2031年までに設置することを公表しています。戸田市内の3駅については、乗降客が増えていることから優先的に設置していきたい。ホームドア設置については同じ想いであるが、課題は半導体の不足とのことでした。

参加した市民からは、「昨年末の親子の痛ましい事

故が二度と起きないように、対策を」全国を見ても、戸田市内3駅の事故が突出して多い。ホームドアの設置で、「自殺を)思いとどまって欲しいと期待している」などの訴えがありました。

設置されるまでの期間

また党市議団3人も、「ホームドアが設置されるまでの期間、人的配置をして欲しい」「人身事故が起きた場合、振替輸送に臨時バスを増発して欲しい」等を要望。また「ホームにゆるキャラの設置をしてはどうか」と提案しました。

人的配置については、現在もホームを巡回してもらっており、歳警察も警備にあたっているそうです。人身事故が起きた際のバス臨時便については、JRからバス会社へ要望を出しているとのことでした。